

「尿中 L-FABP 測定試薬の有用性に関する研究」のお知らせとお願い

尿中 L 型脂肪酸結合蛋白 (Liver-type Acid-Binding Protein:L-FABP) は腎機能検査の新しい検査項目です。腎臓の近位尿細管に存在し、近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると尿中への排出が増加することから、組織障害が進行する前のストレスの程度を反映する新しいバイオマーカーです。今までこの検査項目は特殊な測定機器を必要としていましたが、近年院内でも使用中の生化学汎用機での測定を可能とする方法が開発されました。

本研究は、2016 年 2 月から 4 月までの間、当院にて尿の採取をされた方の検体を使用し、ELISA 法を用いた従来測定法と生化学汎用機を用いた測定法との差異を比較するものです。研究のための追加検査や、患者さんから新たに検体を採取することはありません。

本研究では、検査データや診療情報等の個人情報には匿名化によって管理され、個人が特定されることはありません。遺伝子解析も一切行いません。公的な発表に関しては個人が決して特定されないように留意いたします。

上記の期間に当院にて尿の採取をされた方で、ご自身の検査結果や診療情報を研究に使用しないで欲しいというご希望がある場合には、下記の連絡先までご連絡くださるようお願いいたします。

尚、研究への使用を拒否されましても、防衛医科大学校病院における診察には全く影響はなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

連絡先：埼玉県所沢市並木 3-2

防衛医科大学校病院 検査部（生化学検査室）

[TEL:04-2995-1511](tel:04-2995-1511)(内線 3214)

研究代表者 直井 健治